

博士後期課程 学位論文審査基準

- ① 博士前期課程の学位審査基準を満たしていること。
- ② 研究課題と成果の妥当性
研究課題は当該分野における社会一般を背景にした課題であり、その成果の社会的、学術的価値が的確に評価できていること。
- ③ 理論体系の構築
研究を遂行するにあたっては、既往の理論体系との位置づけが明確な新しい理論が構築できていること。
- ④ 学識、倫理観
プレゼンテーション、討論などにおいて、当該分野の高度な研究内容に即した学識、倫理観をもって説明、質疑応答ができている。

学位審査評価シート（博士後期課程）

項目	評価内容	できている	概ねできている	できていない	該当しない
成果の妥当性と 研究課題	研究課題は当該分野における社会一般を背景にした課題である				/
	研究成果は、独創性や萌芽性などの観点から新規性を有している				/
	研究成果は、発展性や応用などの観点から有用性に優れている				/
	研究成果は、信頼性がある				/
	研究成果の社会的、学術的価値が的確に評価できている				/
情報収集 能力	十分な文献や研究動向の調査が行われている				/
	先行研究に対する自分の研究の位置づけと意義が明確にできている				/
理論体系の構築と 研究遂行能力	既往の理論体系との位置づけが明確な新しい理論が構築できている				
	的確な研究計画が作成されている				
	研究成果は、計画に基づいた実験により実証されている				
	研究成果は、計画に基づいたシミュレーションにより実証されている				
	研究成果は、計画に基づいた調査により実証されている				
	研究成果は、計画に基づいてシステムが実現されている				
	研究成果は、計画に基づいて制作された作品である				
	成果物に対する論理的な評価ができている				
情報発信 能力	研究内容をわかりやすくプレゼンテーションできている				/
	研究内容にかかわる質問に的確に答えられる				/
論文作成 能力	論文の体裁(表紙、要旨、目次、章立て、本文、結論、参考文献など)が整っている				/
学識・ 倫理観	当該分野の高度な研究内容に即した学識を備えている				/
	当該分野の高度な研究内容に即した倫理観を有している				/